

H30年度 計画相談・障害児相談ワーキング振り返り・評価

H31年1月25日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

第5期障害福祉計画の内容(計画・障害児相談の質的整備)に基づき、「計画・障害児相談支援における適切な相談支援の実現」に向けた検討を継続する。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	5回	開催月	7月、9月、10月、12月、1月
------	----	-----	------------------

具体的活動内容

- ・従事者ごとの計画相談対応件数、事業所ごとの新規対応件数、報酬シミュレーション表のサンプルデータを調査し、現状把握を行い、そのデータをもとに相談支援専門員の不足数等について検討した。
- ・報酬改定により、来年度からモニタリング期間が短縮される(6か月→3か月)ことから、報酬改定によるモニタリングの総数の確認を行った。
- ・ビジネスモデルを検討するため、報酬シミュレーション表を用いて、現状を把握した。
- ・今年度検討してきた取り組み内容をまとめた資料を作成した。

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

- ・報酬改定によるモニタリングの総数(H32年4月1日時点)によると、モニタリング回数は、1.46倍の伸び率になる。
- ・事業収入を考えた場合、ビジネスモデルとしては、年間モニタリング及び計画作成件数が200件で、特定事業所加算Ⅲをとることが基本となる。
- ・ワーキングの取り組み結果から、今後の方向性や対応について整理を行った(①障害児相談支援事業との整理、②長岡市独自のモニタリング期間の適用、③計画相談支援等のマンパワー確保等、④新規対象者及び事業所・従事者ごとの対象者の偏りについて)。

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・数字として出せたことはよかった。イメージを形にできた。
- ・ワーキングの活動が相談支援事業所に対して、成果があったか不安(これからだとは思うが)。
- ・事業所に対して、目に見える結果はなかったのかも。
- ・ビジネスモデル等、多角的に納得できるものを成果として出せた。法人への働きかけの資料にも活用できた。
- ・相談体制部会にぶら下がっているが、報告しても、「別物」になっている印象→連携を考えていけると良い。
- ・提示できるものを具体的に見える化できた。
- ・今後のベースができた。
- ・委託相談の現状把握ができた。
- ・モニタリング回数など、多角的に分析・共有できた。
- ・よくやったな、と思う。他市町村ではここまでの取り組みをしていない中で、すごいね、という評価である。
- ・行政と事業所が一緒になって、取り組みを実施し、形になっている。
- ・全国的に必要なだと謳われていること(例:ビジネスモデルの提示)をすでに実施している。
- ・今後、事業所にどう伝えて理解してもらうかが大切。(現場ではなく、法人に対して、相談支援の何が大変なのか、を理解してもらう。意識の問題。)→きちんと説明すれば理解してもらえることで、法人の体制整備にもつながる。
- ・現場が忙しくてできない、というところが課題。→人が増えて楽になった、という実感ができるようになるとよい。
- ・行政も事業所も、異動等で、人が変わることによる影響が出ないようにしないといけない。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	・数字として出せたことはよかった。イメージを形にできた。
調整機能	・ワーキングの取組を、法人への働きかけの資料に活用できた。
開発機能	・ビジネスモデルを作成した。 ・今後のベースができた。
教育機能	・相談支援事業所にとってワーキングの活動がどうつながっていくのか、ということを考えることができた。 ・課題、やるべきことが明確になった。
権利擁護機能	・市独自の利用モニタリングの適用について検討した。
評価機能	・相談支援事業所の現状把握ができた。

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

- ・課題、やるべきことが明確になった。
- ・計画相談支援の仕事量が改めてわかった。
- ・ビジネスモデルが法人に響くという効果がわかった。
- ・計画相談の尺度がわかった(無理なく、どのように実施すれば、本来の役割が果たせるかがわかった)。

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 終了
継続・終了の理由	今年度の取組の結果を踏まえ、引き続き検討が必要な課題があるため。	

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対する モニタリングの実施	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	モニタリング実施時期	年	月
---------------------------	----------------------------	----------------------------	------------	---	---

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】

※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

- ・今年度と同様に、来年度も計画的に取り組みを実施できるようにする。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】

※来年度継続の場合

- ・平成29年度ワーキングで検討した長岡市独自のモニタリング期間の対象者及び内容について、平成30年度報酬改定の内容を踏まえた再精査を行う。
- ・今後、理想のモニタリング頻度を実施していくうえで、新規対象者及び事業所・従事者ごとの対象者の偏りについて、偏りを調整していく必要があるかどうかを含め、検討する。
- ・計画相談支援・障害児相談支援の実施状況等の現状把握を継続して行う。